

**【授業の到達目標および概要】**

動物実験あるいはヒト生体試料を用いた研究における生化学的手法ならびに機器分析等について、分担して述べる。それらを理解し、簡単な操作ができるようになること、また予定研究テーマに関する文献リストと論文テキストへの引用の方法を習得し、継続利用できるようにすることを到達目標とする。

**【授業計画】**

- ①② 参考文献リスト作成ソフト EndNote の使用法—解説と演習—
- ③④ *in vivo* 動物実験 と *in vitro* 培養細胞実験の実際
- ⑤⑥ 遺伝子解析の原理と応用
- ⑦⑧ まとめ

**【授業外学習】**

履修者が予定している研究テーマと本特論との接点について文献検索などを行ない、積極的な授業参加のために準備する。

**【成績評価の方法・基準】**

平常点および講義内容の討論への参加により評価する。

**【教科書】**

随時プリントを配布する。

**【参考書】**

「新版微生物と免疫」（林 修編著、建帛社）、「栄養科学イラストレイテッド 生化学 改訂第2版」（園田 勝編、羊土社）など

**【教材】**

パソコン、PCプロジェクター講義用パワーポイントスライド、実験器具、機器